

小麦品種「にしのやわら」の概要

農業振興課

1 育成経過

- ① 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センターにおいてDNA マーカー選抜で育成された「シロガネコムギ(日本めん用)」の従属品種(2019年2月に出版公表)。
- ② 「にしのやわら」はでんぷんの老化耐性が高く、菓子・うどん等が長時間経過しても硬くなりにくい特性を持っている。



写真 上段：成熟期の立毛、下段：子実

2 現奨励品種「ふくさやか」と比較した特徴

- ① 出穂期、成熟期、稈長、穂長、病虫害抵抗性等の生育特性は同等
- ② 穂数が多く、千粒重が重く、多収。
- ③ 粒がやや細長く、整粒歩合と外観品質はわずかに劣る。子実タンパク質含有率は同等。

*表 農林総合技術センター「にしのやわら」の調査結果参照

3 奨励品種決定の理由

以下の点から、「にしのやわら」の導入によって県産麦類の生産安定と拡大が期待でき、生産者の経営安定や実需者との結びつき強化につながると判断できる。

- ① 栽培特性・収量・品質は、現行の奨励品種の小麦「せときらら」及び小麦「ふくさやか」と同等以上であること。
- ② 小麦「にしのやわら」は、菓子・うどん等が長時間経過しても硬くなりにくい優れた特性をもっており、実需者から生産要望がある。

表 農林総合技術センター「にしのやわら」の調査結果（令和2（2021）～3（2022）年度の平均値、本調査）

品種名	出芽良否	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	精子実重	同左比
	1-5	月・日	月・日	cm	cm	本/m ²	kg/a	%
にしのやわら	1.0	4.05	5.30	83	8.7	512	57.7	111
(標) ふくさやか	1.0	4.05	5.29	84	8.5	453	52.3	100

品種名	倒伏	赤かび病	凍霜害	容積重	千粒重	整粒歩合	外観品質	子実タンパク質含量
	0-5	0-5	0-5	g/L	g	%	1-6	%
にしのやわら	0.0	0.5	0.0	788	38.3	98	2.9	9.5
(標) ふくさやか	0.3	0.5	0.0	763	36.1	99	1.9	9.1

- (注) 1. 旧山口県農林総合技術センター（山口市大内氷上）で令和2年11月16日播種、令和3年11月18日播種での調査結果
 2. 出芽良否は1（良）～5（不良）、倒伏の多少、凍霜害及び病害は0（無）～5（甚）で示した。
 3. 容積重はブラウエル容積重計で測定した。
 4. 外観品質は1～6で示し、概ね1～3が検査等級の1等、4～5が2等相当となるようにした。
 5. 子実タンパク質含有率はBRUKER製MPAを用いて近赤外分光法で測定し、水分13.5%で換算した。